

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和6年 3月14日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所 管理部門長 二階堂 英城

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置
(SCIEX 3200) 保守点検業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期間 自) 令和6年 4月 1日
至) 令和9年 3月 31日
- (4) 履行場所 入札説明書による。
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもつて落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか、免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程(平成13年4月1日付け13水研第65号)第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和4・5・6年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等契約」の業種「建物管理等各種保守管理」又は「その他」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等(入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等)の交付を受けること。

① 直接交付
神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所
管理部門管理課
電話 045-788-7091
FAX 045-788-5001

② 郵送による交付
封書に「トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置(SCIEX 3200)保守点検業務入札説明書希望」と記入し、返信用封筒(角2)に250円切手を貼付し、上記①あて郵送のこと。

③ メールによる交付
任意書式に「トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置(SCIEX 3200)保守点検業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和6年3月21日までに上記3.あてにメール(アドレスは入札説明書に

記載)又はフアックレスにて質疑をを行うこと。当日までの質
 疑をと取りまめ、回の答には入札説明書受領者全員に対してより
 入札説明、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、
 同様に、対応する。内容に個人に関する情報であって特定の個
 人を識別し得る記述がある場合は、当該箇所を伏せ
 害する当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答すること
 である。

5. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和6年3月29日 16時30分
 神奈川県横浜市金沢区福浦2-12-4
 国立研究開発法人水産研究・教育機構
 横浜庁舎 会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和6年3月29日 12時00分
 3. ①に同じ。

6. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

7. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
 次の①及び②に該当する契約先
 ① 当機構において役員を経験した者(役員経験者)が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者(課長相当職以上経験者)が役員、顧問等^{※注1}として再就職していること
 ② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること^{※注2}
 なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
^{※注1} 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えたと認められる者を含む。
^{※注2} 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
 上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
 ① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者(当機構OB)の人数、職名及び当機構における最終職名
 ② 当機構との間の取引高
 ③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨
 3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
 ④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
 ① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報(人数、現在の職名及び当機構における最終職名等)

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

(4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内(4月に締結した契約については原則として93日以内)

(5) その他

当機構ホームページ(契約に関する情報)に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認くださいとともに、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもつて同意されたものとみなさせていただきますので、ご了解願います。

8. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」(平成19年2月15日文部科学大臣決定)に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」(URL:http://www.fra.affrc.go.jp/keiyaku/pledge_request/note_contract.pdf)をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類(①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書)は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出しただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 トリプル四重極リニアイオントラップ質量分析装置 (SCIEX 3200)
保守点検業務
2. 業務目的 水産技術研究所所有の下記の機器について、適正な機能を発揮できるように保守を行い、異常時の迅速復旧を行うことを目的とする。
3. 業務場所 神奈川県横浜市金沢区福浦 2-12-4
国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 横浜庁舎
4. 業務期間 自) 令和6年4月 1日
至) 令和9年3月31日
5. 業務内容 下記のとおり各機器に対応する保守を行うこと。
 - エービーサイエックス社製
AB SCIEX 3200 QTRAP (S/R:AF16180806) 1台
 - 1) 緊急保守 (不定期保守)
機器が正常に作動しない場合、担当職員の要請に基づき必要な保守作業を実施する。
 - 2) 保守作業に要した修理技術料、技術者派遣費、基本技術料は、すべて本契約料金に含まれるものとする。
 - エアテック社製 窒素発生装置
AT-5NP-25CS 50Hz 1台
 - 1) 定期点検 (定期保守)
 - ①各機器の稼働状況を考慮し、契約期間中に1回実施する。
 - ②点検項目は別紙によることとし、その際標準保守交換部品の交換作業を行うこと。
 - ③点検時期は担当職員と協議して決定する。
 - 2) 緊急保守 (不定期保守)
機器が正常に作動しない場合、担当職員の要請に基づき必要な保守作業を実施する。ただし、休日等を除く。
 - 3) 保守作業に要した交換部品代金、技術料および出張費は、すべて本契約料金に含まれるものとする。ただし、機器を稼働させるために使用する試薬消耗品はこの限りではない。
6. 保守作業の 確認 1) 定期保守作業実施後、「定期保守作業完了報告書」を作成し、担当職員に提出する。
2) 緊急保守作業を実施した際は、「作業完了報告書」を作成し、担当職員に提出する。
7. その他 定期保守及び緊急保守においては、機器の損傷に十分注意を払い作業を完全に履行すること。詳細や本仕様書に定めていない事項に関しては、担当職員と協議すること。

別紙

<窒素発生装置定期保守作業点検項目>

1. 安全弁の作動確認
2. 異常振動・異常音有無の点検
3. ボルト・ナット・ネジの緩みの点検
4. 防振ゴム・ステーの点検
5. アフタークーラーの汚れの確認
6. 継手・チューブからのリークの確認
7. エアフィルターの動作、汚れの確認
8. 圧縮機本体の動作確認(異音、圧力、リーク)
9. リリーフ弁の動作点検
10. 圧力調整弁の動作点検
11. 圧力計の動作点検
12. 流量計の動作点検
13. 時間計の動作点検
14. ドライヤーの動作点検

<窒素発生装置標準保守交換部品>

1. スクロール本体 (SRL0.75)
2. ラインフィルター (F4000)
3. ドレイントラップ (DT3010)
4. リリーフ弁 (RV1000)
5. 逆止弁 (CV-155)
6. 吸込フィルター
7. 配管継手一式